

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和2年8月21日

東村山市議会議長 あて

議席番号

質問者

15番

志村 誠

記

1. 東村山市内の石仏や石塔の保存について

村から町、町から市への変遷を路傍で見つめてきた石仏や石塔。
建立当時は村人に崇拝され、色々ないわれをもってきたものが今や保存の危機となっているように思われます。
この身近な文化遺産を後世に伝え、遺していくために以下質問致します。

(1) 市内の石仏や石塔の現状について

- ① 東村山市内に祀られている石仏や石塔またそれらを囲っているお社について、状態や数を把握されているか伺う。
そのうち、寺社とそれ以外の場所に祀られている数を伺う。
- ② 直近の5年間でその石仏や石塔の土地所有者（管理者）から保存についての相談等はあったか伺う。
- ③ 平成5年の12月定例会一般質問で文化財保護（石像、石塔）についての答弁があるが、その後の進捗状況を伺う。
- ④ 平成5年以降、無くなった若しくは合祀された石仏や石塔があるか伺う。
- ⑤ 東村山市文化財保護条例で市史跡や市旧跡になっている石仏や石塔はあるか伺う。

(2) 後世に伝え遺していくために

- ① 石仏や石塔には個々に言い伝えやいわれがあると考ええる。
それを聞き取り、調べデータ化し保存をすることも急務と思うが見解を伺う

- ② 市内各地区にある石仏や石塔は、宅地開発やインフラ整備によって身近な歴史的文化遺産として保存していくことが徐々に困難になっていくと考えるが行政側からの打開策を伺う。